

大島干潟から、つながる周南市ブルーカーボンプロジェクトin徳山下松港

プロジェクトの概要

- 大島干潟は、徳山下松港内の浚渫土砂を活用し造成された約 29ha の人工干潟（平成29年度完成）です。干潟造成後より、アマモ場・コアマモ場が新たに形成されており、現在までに、**多様な生態系が構築**されております。
- 平成29年11月、大島地区住民と山口県漁業協同組合周南統括支店（以下、漁協）に所属する漁業者の参加・協働により**貴重な地域資源である干潟を活用した地域の活性化**を目指して「大島干潟を育てる会」（以下、育てる会）を設立し、大島干潟の保全活動を行っています。
- 育てる会は、アサリ・カキの保全や増殖活動、同干潟内のアマモ場・コアマモ場の保全のほか、国・周南市が連携して毎年実施する環境学習活動の支援を行っています。**漁協は、漁業権が設定されている干潟を含む海域での活動について、運営委員会に諮り許可するとともに、アマモの保全のため、**干潟内をナマコ桁網漁の禁漁区に設定**しています。**周南市**は、干潟の管理者として育てる会の活動を支援し、令和4年度にブルーカーボン推進事業を立ち上げ、**大島干潟を拠点に市内他地域へのブルーカーボン生態系の創出・拡大**に着手しています。
- 令和6年度から、戸田地区の漁業者で構成する「戸田地域干潟保全グループ」が保全活動を実施する**戸田（津木）漁港**を申請地に追加しました。



豊かな藻場・干潟が形成